

新市街地（戸磯地区）について

1. 市の考え方

戸磯地区については、民間主導による工業団地等の整備を検討しているところであり、ＪＲ駅を中心としたコンパクトなまちづくりと新工業団地造成後の就労者の利便性の向上という観点から、「サッポロビール庭園駅からおおよそ南２６号までの区域」を当面の開発想定エリアとし、立地需要に応じた段階的な開発を進めて参ります。

2. 直近の取り組み

（１）土地所有者の把握

- ・ サッポロビール庭園駅前に多く所在する小規模な土地に係る所有者の把握が必要となっておりますが、登記簿や戸籍の調査を実施し、所有者がわからない土地の解消に努めております。

（２）土地所有者の意向の確認

- ・ サッポロビール庭園駅からおおよそ南２６号までの区域について、大規模な土地を所有している方を含め、市で連絡先を把握している土地所有者の一部を個別に訪問し、開発についてのご意向等を伺っております。

（３）令和７年度半導体関連企業立地動向調査（第２回定例会補正予算関連）

- ・ ラピダス社の動向を踏まえ、最新の半導体関連企業の立地需要を把握するために実施しました。
- ・ 今後の状況次第で検討可能→１１社で６．９ヘクタール
- ・ この結果、令和５年度「半導体企業立地動向調査」及びそれを踏まえて実施した令和６年度「新工業団地造成に係る追加ニーズ調査」で回答をいただいた企業を除く、新たな立地需要を把握できました。

3. 今後について

- ・ サッポロビール庭園駅からおおよそ南２６号までの区域の土地所有者の把握及び意向の聞き取りを継続します。
- ・ サッポロビール庭園駅周辺の土地利用の検討を継続します。
- ・ 直近引き合い企業等があるため、これら企業等へのヒアリングを行います。
- ・ これまでの企業立地動向調査等の結果を踏まえて、当面の立地需要面積を整理します。